

滋賀医科大学雑誌投稿規程

(内 容)

第1 本紙には、和文又は欧文の原著、総説、症例報告、CPC等を掲載する。

(投稿資格)

第2 投稿者は、滋賀医科大学に所属する研究者、又は編集委員会が認めたものとする。

(論文の受付)

第3 論文原稿は、ワープロ専用機あるいはパソコンを使用して作成し、フロッピーディスクとA4版の紙に印字(print out)したものを編集委員会(滋賀医科大学附属図書館内)あて3部(オリジナル1部、コピー2部)提出する。編集委員長は、受付年月日を記した原稿受領書を投稿者に交付する。

(論文の受理)

第4 原稿は、別に定める「滋賀医科大学雑誌投稿手引」に従い、内容、体裁が整ったものでなければならない。投稿原稿の受理は、編集委員会で決定し、投稿者に通知する。

(校 正)

第5 原稿の校正は、著者の責任において行う。内容及び組み版面積に影響を与える改変は許されない。

(掲載料)

第6 論文の掲載料と別刷り代は、全額著者の負担とする。

(依頼原稿)

第7 編集委員会が特に必要と認めたときは、本学内外に論文の寄稿を依頼し、本紙に掲載することができる。この場合、掲載料は徴収しない。

滋賀医科大学雑誌投稿手引

(目 的)

第1 この手引は、「滋賀医科大学雑誌投稿規程」の定めるところにより、論文原稿の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

(論 文)

第2 論文は、原則として日本語、英語、ドイツ語、又はフランス語によるものとし、次の各号に掲げる点に留意して作成したものでなければならない。

- 1 論文は、ワープロ専用機あるいはパソコンを使用して作成し、A4版の紙に印字(print out)したもの(書式は横が半角文字で60列、縦が25行とする)、又欧文は、ダブル・スペースで入力したものとする。
なお、1(one)とl(el)、0(zero)とO(capital oh)は区別して入力すること。外字や文字飾りなどの機種固有のものは変換できないので、使用しないこと。また、万一特別に必要なときには、原稿上に赤字で指示するものとする。

- 2 提出フロッピーディスクは3.5インチのものとし、必要なファイルだけをコピーして1枚にまとめ、MS-DOSのtext file形式あるいはMac標準フォーマットのtext file形式にしてファイル名を書き出すこと。
なお、ディスクフォーマットは2HD(1.4MBあるいは1.2MB)あるいは2DD(720KB)に変換したものを提出すること。また、万一のディスクの紛失や破損に備えて、各自でディスクのバックアップをとり、保存しておくこと。印刷は、DTP(Desk Top Publishing)で行うため、下記のようなディスク内容明細をフロッピーディスクに添付しなければならない。

(例)ディスク内容明細

使用機種	NEC PC-9801 BA/V2
使用 OS	MS-DOS ver.3.30D*
ディスクの種類	2 HD(1 4MB)
使用ソフトウェア	一太郎 ver.4*
原稿のファイル名	原稿 .TXT**

* version については必ず記入すること。

** 万一、本文、参考文献などが別々の文書名でディスクに収容されている場合には、どの文書が何にあたるかを詳しく記入すること。

- 論文の記載順序は、①表題、②著者名(ローマ字表記をつける。)、③所属、④欄外見出し、⑤原稿の枚数、⑥図・表の数、⑦連絡先及び別刷請求先住所、⑧欧文抄録、⑨キーワード(Key words)、⑩本文、⑪文献とし、①～⑥は表紙として1枚にまとめること。なお、欧文論文の場合には、さらに和文抄録を付けること。
- 和文の表記は、原則として「常用漢字表」(昭和56年10月1日内閣告示第1号)、「送り仮名の付け方」(昭和48年6月1日内閣告示第2号、昭和56年10月1日内閣告示第3号により一部改正)、「現代仮名遣い」(昭和61年7月1日内閣告示第1号)によるものとする。
- 医学用語は、日本医学会選定のものを用いること。
- ラテン語の学名はイタリックで(原稿上に赤色で指示)、日本語の動植物名は片仮名で書くこと。
- 略号は、国際的慣例に従い、単位及び単位記号は、国際単位系による。(例: nm, μm , μg , μl , Hz 等)。
- 外国人名は、原綴のままとする。国名等は、原字又は片仮名で書く。
- 文献の本文中の引用は、その右肩に番号を付け記載する。
末尾の文献リストは、著者名のアルファベット順とする。筆頭著者が同一のものが2件以上ある場合は、発行年度の古いものを先にする。著者は略さず全員を掲げる。記載順序は雑誌の場合、①著者名、②論文表題、③雑誌名、④巻次、⑤始め-終わりページ、⑥発行年とする。雑誌名の略記は、“Index Medicus”及び「医学中央雑誌」の略名表によるものとする。また単行本の場合は、①著者名、②書名、③版次、④引用ページ、⑤発行地、⑥発行所、⑦発行年とする。

記載例

- Goldstein A, Aronow L, Kalman SM: Principles of Drug Action. pp343-428, New York, Harper & Row, 1968.
 - Gross D: Pain and the autonomic nervous system, in Bonica JJ (ed): Advances in Neurology, vol4, Pain. pp93-103, New York, Raven Press, 1974.
 - 梶田欽一郎: 結合組織, 東京, 金原出版, pp9-17, 1984.
 - King SJ, Reilly K, Dawes J, Miller HRP: The presence in blood of both glycosaminoglycan and mucosal mast cell protease following systemic anaphylaxis in the rat. Int Arch Allergy Appl Immunol 76: 286-288, 1985.
 - 松井成一: 再生時の肥満細胞の組織化学的研究. 京府医大誌 85: 483-492, 1976.
- 10 図・表は、個々の掲載寸法又は縮小率を明記して別に添付し、本文中には、図表が挿入されるべき位置を明示しておくこと。また、図の裏面上縁には、“上”と記しておくこと。

(抄 録)

第3 抄録 (Abstract) は、次の各号に掲げる点に留意して作成すること。

- 1 欧文抄録は、すべて英文とし、本文が欧文の場合は、和文抄録も付ける。
- 2 和文抄録の記載順序は、①表題、②著者名、③所属、④抄録本文とする。
- 3 抄録の長さは、和文で800字以内、欧文では300語以内とする。

(掲載料の納入)

第4 投稿者は、請求のあった日から2週間以内に、全額を納入しなければならない。